

**IASB 公開草案「サプライヤー・ファイナンス契約
(IAS 第 7 号及び IFRS 第 7 号の修正案)」に対する意見提出 (2022.3.25)**

国際会計基準審議会 (IASB) は、サプライヤー・ファイナンス契約およびそれが企業の負債とキャッシュ・フローに与える影響の透明性を高めるための開示要求の変更案に対する意見の募集を 2021 年 11 月 26 日に公表した。

経理委員会では、サプライヤー・ファイナンス契約の開示対象を限定することを提案するとともに、これら金融負債の契約自体を開示することから、支払期日の範囲等については、追加的な開示の重要性が乏しいため同意しない等の意見を取りまとめ、2022 年 3 月 25 日、IASB に提出した。

政一発 第 122 号
2022 年 3 月 25 日

国際会計基準審議会 御中

一般社団法人 日本貿易会
経理委員会

**IASB 公開草案「サプライヤー・ファイナンス契約
(IAS 第 7 号及び IFRS 第 7 号の修正案)」に対する意見提出の件**

以下は、国際会計基準審議会 (IASB) の公開草案「サプライヤー・ファイナンス契約 (IAS 第 7 号及び IFRS 第 7 号の修正案)」(以下「本公開草案」と言う。)に対する一般社団法人日本貿易会経理委員会(以下「当会」と言う。)のコメントである。一般社団法人日本貿易会は、日本の貿易商社及び貿易団体を中心とする貿易業界団体であり、当会は、本邦会計基準及び国際会計基準への対応を主な活動内容の一つとしている。(末尾に当会の参加会社を記載。)

質問 1 — 開示要求の範囲

IAS 第 7 号及び IFRS 第 7 号の修正 [案] は、サプライヤー・ファイナンス契約を定義することを提案していない。その代わりに、IAS 第 7 号の修正 [案] の第 44G 項は、企業が本公開草案で提案している情報の提供を要求されることになる契約の特徴を記述している。第 44G 項は、当審議会の提案の範囲に含まれることとなるそうした契約のさまざまな形式の例も示している。

結論の根拠の BC5 項から BC11 項は、この提案についての当審議会の論拠を説明している。この提案に同意するか。賛成又は反対の理由は何か。提案に反対の場合、その代わりにどのような提案をするのか及びその理由を説明されたい。

同意しない。

44G 項に記載のあるサプライヤー・ファイナンス契約の特徴では開示対象範囲が広範になり過ぎることが懸念される。本項の開示目的は、「サプライヤー・ファイナンス契約が企業の負債及びキャッシュ・フローに与える影響を財務諸表利用者が評価できるようにする情報を開示」(44F 項) することにある。この点、「仕入先が支払を受けるのと同じ日」に企業が資金供給者へ支払を行う場合、または「企業の仕入先に対しての支払条件の早期化を目的」とした場合は、企業の負債及びキャッシュ・フローへの重大な影響は想定されない。そのため、開示目的をより適切に満たすよう開示対象となるサプライヤー・ファイナンス契約の対象を絞り込み、44G 項に記載のある仕入先が支払を受けるのと「同じ日」、及び「企業の仕入先に対しての支払条件の早期化」を削除するよう見直しを提案する。

また、債権や棚卸資産のファイナンス契約は開示対象に含まれない旨が BC11 項に補足されているが、44G 項の文言では、当該調達資金を仕入債務の直接の返済原資とした場合、開示対象となるか否かが不明瞭であるため、債権や棚卸資産を用いたファイナンス契約で調達した資金による仕入債務の返済を対象としない旨、結論の背景だけでなく、基準上にも明記すべきと考える。

質問 2 — 開示目的及び開示要求

IAS 第 7 号の修正 [案] の第 44F 項は、企業が注記において、サプライヤー・ファイナンス契約に関して、当該契約が企業の負債及びキャッシュ・フローに与える影響を財務諸表利用者が評価できるようにする情報を開示することを要求することとなる。

当該目的を満たすため、IAS 第 7 号の修正 [案] の第 44H 項は、企業に次の開示を要求することを提案している。

(a) 各契約の契約条件

(b) 各契約について、報告期間の期首及び期末現在での、

(i) 企業が財政状態計算書において認識している当該契約の一部である金融負債の帳簿価額及び当該金融負債が表示されている科目

(ii) 上記(i)に基づいて開示している金融負債のうち、仕入先が資金供給者からすでに支払を受

けている金融負債の帳簿価額

(iii) 上記(i)に基づいて開示している金融負債の支払期日の範囲

(c) 報告期間の期首及び期末現在での、サプライヤー・ファイナンス契約の一部ではない買掛金の支払期日の範囲

第 44I 項は、企業が異なる契約についてこの情報を集約することは、当該契約の契約条件が類似している場合にのみ認められるとしている。

結論の根拠の BC12 項から BC15 項及び BC17 項から BC20 項は、この提案についての当審議会の論拠を説明している。

この提案に同意するか。賛成又は反対の理由は何か。提案の一部にのみ賛成の場合、何に賛成で何に反対なのかを明記されたい。提案（又はその一部）に反対の場合、その代わりにどのような提案をするのか及びその理由を説明されたい。

同意しない。

当該提案は、利用者の情報ニーズを満たす情報として開示することに異議はなく、財務諸表利用者の目的とされている「サプライヤー・ファイナンス契約が企業の負債及びキャッシュ・フロー（並びに流動性リスク）に与える影響の理解」を満たす内容として 44H 項(a)、(b)(i)については同意する。一方で、44H 項(b)(ii)、(b)(iii)、(c)については、以下の理由から同意しない。

- (1) サプライヤー・ファイナンスは金融負債の一部であり、通常の金融負債と区別して注記する程の重要性は乏しいことに加え、44H 項(b)(ii)、(b)(iii)、(c)については、補足的な情報である一方、現在入手・開示していない情報を含むため作成コスト（実務負荷）は追加で生じ、便益がコストを上回らないと考えられるため、追加の開示要求に反対する。
- (2) 44H 項(b)(ii)の要求は、44G 項のサプライヤー・ファイナンス契約の特徴を前提とすると「仕入先に対する支払条件の早期化」を目的とした契約も開示対象となる。そのため、仮に開示要求する場合であっても、開示対象を「支払条件の延長を受けているもの」に限定すべく、44H 項(b)(ii)を「サプライヤー・ファイナンス契約がなければ支払条件の延長を受けられずに決済されていたであろう金額」を開示対象とすることを提案する。
- (3) 44H 項(b)(iii)、(c)の要求は、企業が支払期日の異なる多様な取引を行い、その一部の取引に対してのみサプライヤー・ファイナンス契約を行っている場合、サプライヤー・ファイナンス契約の対象でない金融負債の支払期日を一律に開示させ、サプライヤー・ファイナンス契約を利用した金融負債の支払期日との比較を行ったとしても上記の開示目的を達成できない可能性がある。仮に開示要求する場合であっても、サプライヤー・ファイナンス契約を利用することによる支払期日の延長期間が理解できれば十分であると考えられるため、44H 項(b)(iii)と 44H 項(c)に分けてそれぞれの支払期日の範囲を開示するのではなく、当該契約により延長された支払期間を開示対象とすることを提案する。

質問 3 — 開示要求に追加された例示

IAS 第 7 号の修正 [案] の第 44B 項並びに IFRS 第 7 号の修正 [案] の B11F 項及び IG18 項は、サプライヤー・ファイナンス契約を、それぞれ、財務活動から生じた負債の変動に関する情報及び流動リスクに対する企業のエクスポージャーに関する情報を開示するという要求事項の中での例示として追加することを提案している。

結論の根拠の BC16 項及び BC21 項から BC22 項は、この提案についての当審議会の論拠を説明している。

この提案に同意するか。賛成又は反対の理由は何か。提案に反対の場合、その代わりにどのような提案をするのか及びその理由を説明されたい。

同意する。

以 上

一般社団法人日本貿易会

〒100-0013

東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 1 号

霞が関コモンゲート西館 20 階

経理委員会委員会社

CBC 株式会社

蝶理株式会社

阪和興業株式会社

株式会社日立ハイテク

株式会社ホンダトレーディング

稲畑産業株式会社

伊藤忠商事株式会社

岩谷産業株式会社

JFE 商事株式会社

兼松株式会社

興和株式会社

丸紅株式会社

三菱商事株式会社

三井物産株式会社

長瀬産業株式会社

日鉄物産株式会社

野村貿易株式会社

神栄株式会社

双日株式会社

住友商事株式会社

豊田通商株式会社

ユアサ商事株式会社

Document No.122

March 25, 2022

To the International Accounting Standards Board

Accounting & Tax Committee
Japan Foreign Trade Council, Inc.

**Comments on the Exposure Draft “Supplier Finance Arrangements
(Proposed amendments to IAS 7 and IFRS 7)”**

The following are the comments from the Accounting & Tax Committee of Japan Foreign Trade Council (JFTC) regarding the International Accounting Standards Board (IASB)’s Exposure Draft “Supplier Finance Arrangements (Proposed amendments to IAS 7 and IFRS 7)”. JFTC is a trade-industry association with Japanese trading companies and trading organizations as its core members, while the principal function of its Accounting & Tax Committee is to respond to developments in Japanese and international accounting standards. (Member companies of JFTC Accounting & Tax Committee are listed at the end of this document.)

Question 1—Scope of disclosure requirements

The [Draft] Amendments to IAS 7 and IFRS 7 do not propose to define supplier finance arrangements. Instead, paragraph 44G of the [Draft] Amendments to IAS 7 describes the characteristics of an arrangement for which an entity would be required to provide the information proposed in this Exposure Draft. Paragraph 44G also sets out examples of the different forms of such arrangements that would be within the scope of the Board’s proposals.

Paragraphs BC5–BC11 of the Basis for Conclusions explain the Board’s rationale for this proposal.

Do you agree with this proposal? Why or why not? If you disagree with the proposal, please explain what you suggest instead and why.

We do not agree.

We are concerned that the characteristics of supplier finance arrangements described in paragraph 44G would unduly broaden the scope of disclosure. The objective of the disclosure under this paragraph is for an entity to “disclose information about its supplier finance arrangements that enables users of financial statements to assess the effects of those arrangements on the entity’s liabilities and cash flows,” as stated in paragraph 44F. In this regard, if an entity pays a finance provider “at the same date as suppliers are paid” or arrangements provide “the entity’s suppliers with early payment terms,” no material effects on the entity’s liabilities and cash flows are expected. For that reason, we propose that paragraph 44G be amended by deleting “the same date as, or” and “or the entity’s suppliers with early payment terms,” in order to narrow down the supplier finance arrangements subject to disclosure and thereby fulfill the disclosure objective more appropriately.

Paragraph BC11 adds that receivables and inventory financing arrangements are not included in the scope of disclosure. However, in paragraph 44G, it is unclear whether disclosure is required when the funds procured are directly utilized to repay trade payables. It should therefore be explicitly stated not only in the Basis for Conclusions but also in the Standard itself that disclosure is not required for the repayment of trade payables using funds procured through receivables and inventory financing arrangements.

Question 2—Disclosure objective and disclosure requirements

Paragraph 44F of the [Draft] Amendments to IAS 7 would require an entity to disclose information in the notes about supplier finance arrangements that enables users of financial

statements to assess the effects of those arrangements on an entity's liabilities and cash flows.

To meet that objective, paragraph 44H of the [Draft] Amendments to IAS 7 proposes to require an entity to disclose:

- (a) the terms and conditions of each arrangement;
- (b) for each arrangement, as at the beginning and end of the reporting period:
 - (i) the carrying amount of financial liabilities recognised in the entity's statement of financial position that are part of the arrangement and the line item(s) in which those financial liabilities are presented;
 - (ii) the carrying amount of financial liabilities disclosed under (i) for which suppliers have already received payment from the finance providers; and
 - (iii) the range of payment due dates of financial liabilities disclosed under (i); and
- (c) as at the beginning and end of the reporting period, the range of payment due dates of trade payables that are not part of a supplier finance arrangement.

Paragraph 44I would permit an entity to aggregate this information for different arrangements only when the terms and conditions of the arrangements are similar.

Paragraphs BC12–BC15 and BC17–BC20 of the Basis for Conclusions explain the Board's rationale for this proposal.

Do you agree with this proposal? Why or why not? If you agree with only parts of the proposal, please specify what you agree and disagree with. If you disagree with the proposal (or parts of it), please explain what you suggest instead and why.

We do not agree.

Regarding this proposal, we have no objection to disclosing information that meets the information needs of financial statement users, and agree with paragraphs 44H(a) and 44H(b)(i) as items satisfy users' objective of understanding regarding the effects of supplier finance arrangements on an entity's liabilities and cash flows as well as liquidity risk. On the other hand, we do not agree with paragraphs 44H(b)(ii), 44H(b)(iii), and 44H(c) for the following reasons:

- (1) Supplier finance is a part of financial liabilities and lacks sufficient materiality to be disclosed in the notes separately from regular financial liabilities. In addition, the disclosures required by paragraphs 44H(b)(ii), 44H(b)(iii), and 44H(c) would, despite pertaining to supplementary information, add to preparation costs (practical burdens) because they include information that is presently not obtained and disclosed. Accordingly, as the benefits of these disclosures would not outweigh the costs, we do not agree to these

additional disclosure requirements.

- (2) Predicated on the characteristics of supplier finance arrangements in paragraph 44G, the requirement of paragraph 44H(b)(ii) would make arrangements providing the entity's suppliers with early payment terms within the scope of disclosure. Even if this disclosure is required, its scope should be limited to arrangements that provide the entity with extended payment terms. We therefore propose that paragraph 44H(b)(ii) be amended by requiring the disclosure of "the carrying amount of financial liabilities that would have been settled without extension of payment terms if there had not been supplier finance arrangements."
- (3) As for the requirements of paragraphs 44H(b)(iii) and 44H(c), suppose that an entity conducts diverse transactions with different payment due dates and has entered into supplier finance arrangements for only some of those transactions. In that case, the disclosure objective mentioned earlier would not be met by having the entity disclose the payment due dates of all financial liabilities that are not part of the supplier finance arrangements and comparing these with the payment due dates of financial liabilities that are part of the supplier finance arrangements. Even if this disclosure is required, we believe it should be sufficient for users to be able to understand the extension periods of payment due dates made possible by using supplier finance arrangements. We therefore propose that, rather than requiring the disclosure of the respective ranges of payment due dates separately under paragraphs 44H(b)(iii) and 44H(c), the scope of the disclosure be changed to the payment periods extended by the arrangements.

Question 3—Examples added to disclosure requirements
Paragraph 44B of the [Draft] Amendments to IAS 7 and paragraphs B11F and IG18 of the [Draft] Amendments to IFRS 7 propose to add supplier finance arrangements as an example within the requirements to disclose information about changes in liabilities arising from financing activities and about an entity's exposure to liquidity risk, respectively.
Paragraphs BC16 and BC21–BC22 of the Basis for Conclusions explain the Board's rationale for this proposal.
Do you agree with this proposal? Why or why not? If you disagree with the proposal, please explain what you suggest instead and why.

We agree.

Japan Foreign Trade Council, Inc.

Kasumigaseki Common Gate West Tower 20F

3-2-1, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,

Tokyo 100-0013, Japan

Website: https://www.jftc.or.jp/english/home_e.htm

Members of the Accounting & Tax Committee

CBC Co., Ltd.

Chori Co., Ltd.

Hanwa Co., Ltd.

Hitachi High-Tech Corporation

Honda Trading Corporation

Inabata & Co., Ltd.

Itochu Corporation

Iwatani Corporation

JFE Shoji Trade Corporation

Kanematsu Corporation

Kowa Company, Ltd.

Marubeni Corporation

Mitsubishi Corporation

Mitsui & Co., Ltd.

Nagase & Co., Ltd.

Nippon Steel Trading Corporation

Nomura Trading Co., Ltd.

Shinyei Kaisha

Sojitz Corporation

Sumitomo Corporation

Toyota Tsusho Corporation

Yuasa Trading Co., Ltd.